

第3期富山県医療費適正化計画の実績評価について

資料2

高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、各都道府県は、医療費適正化計画の計画期間の終了の翌年度に、当該計画の実績に関する評価（以下、「実績評価」という。）を行うこととされており、今般、平成30年3月に策定した「第3期富山県医療費適正化計画」（平成30年度～令和5年度）の実績評価を行うもの

1 医療費の動向

全国と同様に増加傾向にあり、国民医療費に占める後期高齢者医療費の割合が全国と比較して高い。

	H30	R1	R2	R3	R4	H30→R4	
						伸び率	順位
全国計	433,949 (37.8)	443,895 (38.4)	429,665 (37.2)	450,359 (37.9)	466,967 (38.2)	7.6%	—
富山県	3,625 (45.0)	3,708 (45.5)	3,573 (45.9)	3,738 (45.1)	3,851 (45.7)	6.2%	22

※（ ）は国民医療費に占める後期高齢者医療費の割合（単位：％）

2 目標の進捗状況等

項目	年度		第3期						備考 (全国値)
	H20	H25	H30	R1	R2	R3	R4 (全国順位)		
県民の健康の保持の推進									
① 特定健康診査の実施率 【目標：70%以上】	46.7% (3位)	53.8% (4位)	59.7% (3位)	61.7% (3位)	60.8% (3位)	62.9% (3位)	63.3% (3位)	57.8% (R4)	
② 特定保健指導の実施率 【目標：45%以上】	19.2% (18位)	21.6% (21位)	28.1% (12位)	29.3% (10位)	28.1% (12位)	29.6% (12位)	30.5% (13位)	26.5% (R4)	
③ メタボリックシンドロームの 該当者及び予備群の減少率 (※1) 【目標：25%以上】			20.7% (6位)	19.9% (6位)	18.5% (6位)	21.3% (6位)	23.2% (6位)	16.0% (R4)	
④ たばこ対策 (※2)	<参考指標：成人の喫煙率> 男性：54.4%(H12)→46.1%(H16)→33.4%(H22)→26.9%(H28)→27.3%(R3) 女性：10.0%(H12)→10.2%(H16)→10.5%(H22)→4.8%(H28)→4.6%(R3)								
⑤ 予防接種 (※2)	<参考指標：新型コロナウイルスワクチンの特例臨時接種における接種率> 富山県：84.5%(1回目)、83.9%(2回目)、71.1%(3回目) 全 国：80.4%(1回目)、79.5%(2回目)、67.1%(3回目) ※定期の予防接種等について、各市町村において郡市医師会等の関係団体と連携の上、十分な接種体制が確保され、対象者への接種が実施されている。								
⑥ 生活習慣病等の重症化予防の 推進 (※2)	<参考指標：年間新規透折導入患者数> 310人(H30)→310人(R1)→263人(R2)→296人(R3)→306人(R4)								
⑦ その他予防・健康づくりの取 組 (※2)	<参考指標：健康寿命の延伸> 平均寿命 男性：70.63年(H22)→72.58年(H28)→72.71年(R1) ⇔ 81.55年(R1) 女性：74.36年(H22)→75.77年(H28)→76.18年(R1) ⇔ 87.83年(R1) <参考指標：がん検診受診率> 全国 胃がん：44.9%(H25)→44.6%(H28)→44.5%(R1)→41.8%(R4) ⇔ 37.2%(R4) 肺がん：46.7%(H25)→50.5%(H28)→52.5%(R1)→52.9%(R4) ⇔ 45.0%(R4) 大腸がん：39.6%(H25)→41.4%(H28)→43.0%(R1)→45.3%(R4) ⇔ 41.5%(R4) 乳がん：38.1%(H25)→40.1%(H28)→39.4%(R1)→38.8%(R4) ⇔ 36.4%(R4) 子宮頸がん：38.0%(H25)→39.9%(H28)→38.8%(R1)→37.1%(R4) ⇔ 34.5%(R4)								
医療の効率的な提供の推進									
⑧ 後発医薬品の使用割合 【目標：80%以上】			77.4% (13位)	80.1% (12位)	81.8% (13位)	81.3% (17位)	82.7% (17位)	81.2% (R4)	
⑨ 医薬品の適正使用の推進 (※2)	<参考指標：重複・多剤投薬患者の割合> 重複：0.068%(H30)→0.068%(R1)→0.044%(R2)→0.049%(R3)→0.051%(R4) 多剤：2.19%(H30)→2.08%(R1)→1.85%(R2)→1.82%(R3)→1.83%(R4)								

※1 平成20年度の特定保健指導対象者の推定数に対する減少割合

※2 数値目標以外の目標は、「県が取り組む施策」において目標を達成するための取組みとして記載

3 施策の進捗状況等

	実施内容	評価・分析、課題・今後の施策	
県民の健康の保持の推進	①特定健康診査、②特定保健指導の実施率向上、③メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少に向けた取組み	・PFS活用による先進的な取組みの実施、好事例の横展開 ・ウェブサイトやSNS等を活用した広報 ・保険者協議会と連携した啓発資料作成、研修会実施 ・歩数計アプリを使用した健康ポイント事業、睡眠不足等の解消や野菜摂取量を促進する取組等の実施 ⇒先進的な取組み、好事例の横展開、市町村の課題に応じた助言、職員の資質向上に向けた支援などの取組みを推進	
	④たばこ対策	・学校保健と連携した喫煙防止、禁煙などの取組み ・庁舎や保健施設、福祉施設や体育施設、文化施設などでの施設内禁煙の推進 ・家庭や職場などでの受動喫煙防止の普及啓発 ・平成28年と比較して喫煙率が微増傾向であり、今後、県民の健康意識の向上が必要 ⇒年代に応じた喫煙防止対策および受動喫煙防止策の推進に向けた取組を強化	
	⑤予防接種	・郡市医師会等と連携した市町村による対象者への接種実施 ・新型コロナウイルスワクチンの特例臨時接種について、市町村の接種体制を側面支援 ・接種の効果や意義、安全性や副反応に係る情報提供や感染動向の把握、調査結果の公開・感染拡大時の注意喚起を通じた普及啓発 ・各市町村で十分な接種体制を確保 ・新型コロナウイルスワクチンの特例臨時接種における接種率は、関係団体の積極的な協力により、全国平均より高い ⇒市町村や関係団体と連携し、引き続き、十分な接種体制の確保並びに接種に関する適切な情報提供等の取組みを推進	
	⑥生活習慣病等の重症化予防の推進	・郡市医師会等関係者と市町村の連携体制強化 ・富山県糖尿病性腎症重症化予防プログラムの円滑な実施に向け、保健指導の質向上を図る研修会を開催 ・富山県健康づくり県民会議等において、医療関係者などと生活習慣病等における課題や対応について協議 ・年間新規透折導入患者数は横ばい傾向 ・重症化予防プログラム実施にあたり、保健指導担当者のスキルアップを課題とする医療保険者が多い ⇒保険者の実情に応じた支援や保健指導の質の向上に向けた支援を引き続き推進	
	⑦その他予防・健康づくりの取組	・「富山県健康づくり県民会議」を設置し、社会全体で健康寿命の延伸に向けた取組みを推進 ・がん検診の受診率向上を図るため、節目年齢及び重点年齢者についてがん検診の自己負担額を軽減あるいは無料とする市町村に補助 ・健康寿命は、2010（平成22）年と2019（令和元）年を比較して男女とも延伸 ・がん検診受診率は、一部がん種を除き50%に達していない状況 ⇒がん対策についてより一層の取組を推進	
	医療の効率的な提供の推進	⑧後発医薬品の使用促進	・ガイドブックの作成・配布、公的病院ジェネリック医薬品採用目録の公表 ・ジェネリック医薬品メーカー視察研修、講習会実施 ・医療保険者による後発医薬品利用差額の通知 ⇒引き続き後発医薬品の使用促進の取組みを推進
		⑨医薬品の適正使用の推進	・かかりつけ薬剤師・薬局の推進、おくすり手帳の普及、関係機関との連携強化 ・医療保険者による重複多剤投与と患者への服薬情報通知、服薬訪問指導 ・普及啓発資料の作成・配布、保険者協議会と連携したポリファーマシー対策研修会の実施 ・重複多剤投与と患者の割合は減少したが、該当者数は近年増加傾向 ⇒一般県民を対象としたポリファーマシーに関する普及啓発、適切な医療につながるマイナ保険証について保険者等と連携しながら利用促進

4 医療費推計と実績の比較・分析

令和4年度の医療費は3,828億円になると推計（適正化後）。新型コロナウイルスによる受診控えの影響もあり令和2年度の医療費は減少したが、3年度にはその反動もあり増加に転じ、4年度の実績は3,851億円と推計値（適正化後）に比べ23億円増加した。（但し、本県の高齢化が全国より早く進む中、医療費の伸び率は全国より低く推移）

	H30	R1	R2	R3	R4	R5	
医療費 (億円)	推計値（適正化前）	3,643	3,704	3,764	3,819	3,874	3,931
	推計値（適正化後）	3,601	3,661	3,720	3,774	3,828	3,884
	実績値（富山県）	3,625	3,708(+2.3%)	3,573(▲3.6%)	3,738(+4.6%)	3,851(+3.0%)	—
	実績値（全国）	433,949	443,895(+2.3%)	429,665(▲3.2%)	450,359(+4.8%)	466,967(+3.7%)	—

※ 推計値は厚生労働省提供「第3期医療費適正化計画推計ツール」を用いて算出